豊田民報
日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一-六-六
TEL…三四-四七七二
毎週一回発行

6月議会

# 加齢による難聴者に補聴器の購入補助を

**根本みはる市議がおこなった一般質問の内容の一部（その2）をお伝えします。**

## 補聴器使用率　日本は13.5％

難聴は高齢者やその家族にとって身近な問題となっています。日常生活、コミュニケーションを困難にしている問題とともに、うつや認知症の要因となる危険性も 研究の中で指摘されています。補聴器は働く上でも必要であり、生活を支える有効な手段ともなっています。

難聴の方のうち、補聴器を使用している人の割合では、欧米諸国と比較すると、イギリス４２，４％、ドイツ３４，９％、フランス３４，１％、アメリカ３０，２％に対し、日本は１３，５％とこれらの半分以下という状況となっています。（一般社団法人日本補聴器工業会がJapanTrak２０１５の調査結果に基づくデータ）

必要とされる補聴器を持つ方の生活への支障が生じ、その対策は喫緊の課題です。

## 難聴と認知症予防の調査・研究

補聴器の価格は、日本補聴器工業会の調べでは両耳で平均３０万円と言われており高額なものです。

兵庫県議会をはじめ「高齢者の補聴器購入費の国の助成制度の創設」を求める全国の市町村議会の意見書は、２０２１年９月時点で １８０議会に急増しています。

また、難聴は認知症の危険因子であり、厚生労働省は、補聴器を用いた聴覚障害の補正による認知機能低下予防の効果を検証するための研究を推進するとしています。

## 聴力低下を検査で認識

補聴器を用いた聴覚障害の補正による認知機能低下予防の効果検証として、国際アルツハイマー病会議で認知症予防、介入、ケアに関するランセット国際委員会が報告した内容が注目されています。認知症の全症例の約４０％が潜在的に修正可能な因子に起因するとし、難聴がそのもっとも大きな危険因子に相当するという内容です。

世界保健機構（WHO）が補聴器の装着を推奨する聴力は、４１デシベル以上の中等度で、普通の大きさの声での会話の聞き間違いや聞き取りにくさを感じる程度であると言われています。聴力の検査聴力の衰えを本人の自覚だけでなく、客観的に数字で認識でき、補聴器購入のきっかけにもなります。

Q　聴力検査を毎年、職場の診断

A　特定健康診査の検査項目への追加は考えていない。

以外に個人で受ける聴力検査の機会は少なく、聴力の低下を早期に把握するため、医療機関での定期的な受診できる特定健康診査において、聴力検査をあわせて実施できないか。

## 補聴器購入助成制度を提案

西東京市医師会が、公益事業として、認知症予防のための聴覚検診を立ち上げ、一般市民に対して、区市町村がおこなう健康診査を通して施行さ

東京都豊島区では、事業の目的を「聴力低下による閉じこもりを防ぎ、高齢者の積極的な社会参加や地域交流を支援し、高齢者の健康増進、認知症予防に資すること」とHPで明確にし、千葉県浦安市では ２０数年前から医師の証明があれば所得制限なしで申請・受給できる制度があります。愛知県内の自治体の助成制度は下記の通りです。

Q　補聴器購入に対する補助制度の考えは。

A　補聴器購入費を助成する制度の導入は予定していないが、引き続き各方面の研究状況や、国の動き等を注視していく。

根本市議は、国の制度創設を待つのではなく、市民の要望である補聴器購入助成制度をつくることを求めました。

全国市長会では、令和４年度国の施策及び予算における高齢福祉に関する提言「補聴器購入に対する補助制度の創設などについて」必要な措置を講じる

| 県内の補聴器補助実施状況 | | |
|---|---|---|
| 市町村 | 年齢 | 補助金額 |
| 犬山市 | 65 歳以上 | 住民税非課税世帯<br>購入費用の半額（上限 2 万円） |
| 稲沢市 | 70 歳以上 | 住民税非課税世帯<br>購入費用の半額（上限3万円） |
| 設楽町 | 65 歳以上 | 1 回限り 3 分の2以内で上限5万円<br>修理または調整に要した費用は耐用<br>年数中、年 1 回上限1万円補助 |
| | | 2021 年愛知自治体キャラバンまとめより |

# 広島大会のオンライン中継視聴会

**8月6日（土）午前10時30分～12時30分**

**場所：日本共産党豊田市委員会事務所**

# 核兵器禁止条約参加を求める署名行動

（オンライン視聴　終了後）

**8月6日（土）午後1時30分～2時30分**

**場所：豊田市駅西側デッキ**

主催：豊田・みよし原水協

核兵器廃絶の時代を拓く歴史的大会に参加しよう！

# 原水爆禁止2022年世界大会

被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を
―人類と地球の未来のために

「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を－人類と地球の未来のために」をテーマに8月4日から8日まで3年ぶりに2つの被爆地で原水爆禁止2022年世界大会を開催します。さらにオンラインも併用し、全国と世界を結びます。

今、被爆国日本の原水爆禁止の世論と運動は、核兵器のない世界を実現させる上で、特別に重要な役割を持っています。岸田内閣は、ロシアのウクライナ侵略を機に、日本をアメリカの核戦略態勢に組み込み、アメリカとともに戦争する国づくりをすすめています。“戦争か平和か”、核兵器の禁止か核破局の脅威か”、国民一人ひとりにその選択が問われています。

世界大会への支持・賛同、広島・長崎での大会と合わせて、全国の主要都市で開催するオンライン大会への参加、核兵器廃絶の国際共同行動「平和の波」、核兵器禁止条約参加を求める署名、対話、国民平和大行進など、ともに行動するよう全国の皆さんに心から訴えます。（世界大会パンフより）

【プログラム】
- 主催者あいさつ
- ゲストスピーカー、政府代表
- 来賓あいさつ
- 被爆者あいさつ
- メッセージ紹介
- 「平和の波」開始宣言

【プログラム】
- 特別企画
「核兵器禁止条約に参加する政府の実現めざし、新たな共同を－国会議員との対話」
- 被爆者の訴え
- 広島からのよびかけ　等

【プログラム】
- NPT再検討会議の報告
- メッセージ紹介
- 被爆者の訴え
- 文化企画・日本と世界、草の根の運動の交流　等

**もとむら伸子**
衆議院議員



本多のぶひろ　党市委員会事務局長
根本みはる　豊田市議会議員

◆◆第2土曜日　午前10時～12時
◆法律相談は弁護士
生活相談は市議会議員が相談にのります。
◆要予約。お申し込みは党市議会議員か日本共産党西三地区委員会まで
TEL〇五六四－二三－二七八五

**無料　法律・生活相談おこなっています**

# 安倍元首相の「国葬」に反対するスタンディング行動

**8月3日（水）**

**時間：午後1：00～1：30**

**場所：市駅西デッキ**

主催　豊田革新懇